# 雫石町立小学校適正配置基本計画に係る説明会
# 会議録（西根小学校開催分）

平成２５年１１月１３日

雫石町教育委員会

平成２５年１１月１３日雫石町立小学校適正配置基本計画に係る説明会を開催した。

場　所　西根小学校２階ホール
時　間　１９時００分～２０時２５分

１．出席者
一般住民　　２０人

２．事務局から説明のために出席した職員

| | |
|---|---|
| 雫石町教育委員会教育委員長 | 上　野　　　宏 |
| 雫石町教育委員会教育委員 | 上　田　武　夫 |
| 雫石町教育委員会教育長 | 吉　川　健　次 |
| 雫石町教育委員会学校教育課長 | 高　橋　啓　二 |
| 雫石町教育委員会学校教育課主査 | 田　辺　　　茂 |

３．書　　記
雫石町教育委員会学校教育課主任　坂　井　一　博

４．開会宣言

田辺主査　時間ですので、雫石町立小学校適正配置基本計画に係る説明会を始めさせていただきます。始めに教育委員長からご挨拶します。

委員長　　夜分お寒い中、お集まりいただき大変ありがとうございます。ご存じのとおり、児童数の減少が予測を超える速さで進行。雫石町の小学校児童数は、平成 24 年度 852 名。わずか 6 年後の平成 30 年は、698 名と 700 人をきる。それに伴って、町内 10 小学校で複式学級が半数以上の 6 校に増加。複式学級は、担任の目がよく行き届く、仲良くなって家庭的な雰囲気で伸び伸び過ごせる等、良い点もあるが、反面、沢山の子供達と過ごす中で身につける社会性や、色々な意見を聞きながら自分の考えを高める点が出来にくくなる。また 1 時間の授業の中で、先生の直接指導を受ける時間が少なくなり、ドリルや自習の形を取らなければならない状況も出てくる。これからの子供達に必要な力として言われているのは、多様な意見を聞き、自分の考えを作り、それを多くの方に発信する、人と関わる力を強める力。これからの学校では、そのような学習集団として磨き合い、鍛え合うことのできる児童数を有することが必要と考えている。

　そこで町内小学校を見直し、適正な規模にするため平成 24 年度に小学校適正配置検討委員会の立ち上げ、5 回の検討委員会で 2 月に提言書を提出いただだいた。それを元に教育委員会で、6 回の会議を行い色々な視点から検討し、学校見学も行った。それで作り上げたのが提示した、基本計画。私共は、子供達のよりよい学習環境を第一に考え、検討。ご質問や前向きなご意見をたくさんいただき、より良いものにしていきたい。

田辺主査　〔説明会参加の事務局の紹介〕

学教課長　〔以下、適正配置基本計画を資料に沿って朗読し、内容を説明する〕

田辺主査　質疑に入ります。ご質問、ご意見について挙手でご発言をお願いいたします。

参加者　　基本的に子供達を主体に考え、色々とご検討、協議されたことは評価する。統合は、個人としては反対。地域住民として、OB としてこの小学校を手放すのがどうしても気持ち的に収まらない。耐用年数、構造、耐震問題、小学校全てクリアしている中、築 30～40 年の建物において、4～5 年の古い、新しいは関係ないと思う。どこに統合してもプールや学童の改装、クラスの確保、駐車場整備等、町として諸経費は必要。上長山小は、岩手山の噴火の部分はあるが、耐用年数や統合する場所の古い新しいだけでなく、もう少し選考する項目を文中に増やし、どこが一番相応しいか、もう一度協議、再考してもらいたい。特に下長山小は、我々から見ると逆に不便。ただ、街に近いだけで、県道から校門まで非常に遠く、駐車場は当然ない。西根小学区からだと川を挟んで北側も南側も遠く、一番不便。これは、一つの意見。

学教課長　下長山小に一番近いのは、雫石小。現在、雫石小に指定外通学の子達がいるが、西根小や上長山小に統合となれば、更に増える可能性もある。基本、指定校外は、余程の理由がないと許可しない。ただし、通学の距離が明らかに違えば、児童の通学の身体的不安の軽減のため、許可せざるを得ない部分もある。申請が増えれば、予測児童数より減る可能性もある。

参加者　　行政区単位で考えると、下長山小学区は 3 行政区、西根小学区は 7 行政区、上長山小学区は 6～7 行政区。地域の意見をまとめるのは下長山小学区では 3 行政区だが、人口は下長山小学区が一番多い。その地域で将来に渡って説明し、意見集約する上で、逆に一番増えづらくなることも踏まえる必要があるのでは。あと、林崎行政区から雫石小に行ける諸事情もわかるが、それはおかしいと思う。我々では考えられない学区制。地域的な部分で下長山小となれば、構造問題以外に委員会等で揉まれた項目を教えて欲しい。

学教課長　林崎だけではなく、雫石地区の陽和郷の方も近いので下長山小に通学。そういう学区編成で、統合となれば雫石地区なのでとの要望が出てくる可能性はある。あとは、保護者が雫石の中心部や盛岡等へお勤めされている場合、例えば、上長山小に統合すると、お勤め後、上長山小にある児童クラブまで行って戻るのも負担かと。もし、上長山小学区の方が中心部にお勤めで下長山小に統合した場合は、帰りに乗せて帰れる部分も大きな利点と考えた。それが全てではないが、どのぐらいの方がどこに勤めているかの把握はこちらでは出来ないので、あくまでも予測で考えた。

参加者　　そういう話は、予測なので意味がない気がする。私は、元々この地区の人間ではなくこの学校を卒業したわけでもない。そういう点では、また違うかと思っていた。昔、中学校がすぐ近くにあったと伺ったが、その頃は、そこが西山地区の中心だったと思うし、私が考える位置的な場所は、どこからでも同じような距離感がある場所が最初に優先的な事項で出てくる。耐用年数の話も出たが、5 年は大した差ではない気がするし、使用頻度によってそれぞれ老朽化する箇所も違う。5 年で決めるのは、少し酷な気もする。ここでの説明はざっくりしているので、もっと細かく見るとそれぞれあると思うし、メリット、デメリットをもう少し細かく丁寧に説明してもらいたい。西根小の耐久性と上長山小の噴火の影響が 2 校の排除の主な理由かと取られてしまう。もう少し細かく説明いただければ、地域の方にも親切。それでこの先、統合準備委員会に入っていくと思うが、この基本計画が正式なものとなっていく期間やどういう動きで正式な決定に至るかを聞きたい。

学教課長　当然、色々な意見が集約され、恐らく理解していただけない部分もあるかと思う。統合する場所、それによる地域の衰退。1 回では当然理解されない部分があるので、何度も来て説明をして理解を得る。今、言われた色々な意見をもう一度こ

ちらで詰め、再度来て説明したい。もしかしたら、さらに 1 年かかるかもしれない。

今まで、統合の話はタブーで誰も手をつけなかった部分があるが、児童の減少を考えると、子供にとって一番いい教育環境は何か、純粋にそれだけを考えたい。雫石町をこれから担うであろう子供達を、一番いい環境の中で育てたい思いで今回の計画を出した。理解を得られなければいけないが、その都度意見は出る。それを一つずつクリアしていかなければならない。教育委員会としては、早めに子供達に新しい環境で学校生活を送ってもらいたいが、理解を得られないまま進むわけにもいかない。この期間に縛られない形でじっくり進めたい。

上田委員　私は、ここの卒業生。教育委員としてこの計画に携わってきた。やはり、それぞれの学校の地区の方、PTA の方は、できれば自分達の地域の学校が残って欲しい思いがある。それは理解できるが、一番の目標は複式解消。西根小にも複式学級があるのでどういう授業かは見ているはず。昔、私達は、たくさんの人数の中やってきたので今の複式は想像できなかった。2 クラスを 1 人で持つ先生方も大変。一度に同じ授業はできないので、時間の範囲内で 2 学年をやる。それを見ると、やはり、このままではまずいなと。出来るだけ多くの人の意見、声を聞くべき。1～6 年生まで、それぞれ相応しい人数でやった方がいいのでは。地域に行って、それぞれ言い始まって出てくると、誰が一番困るかというと子供達。地域のこともわかるが、複式解消でなるべく早く子供達にいい環境をとの思いで、この計画に自分自身も携わって賛成してきた。本来であれば、自分の卒業した学校だから、当然西根小がいいと言いたいが、色々回り、下長山小と自分も判断した。それぞれ地域の思いはあるが、子供達の学習環境改善を優先してもらえば一番いいかと、私は思う。

参加者　子供達のことを考えれば、確かに今の状態は相応しくない。これからの世の中を担う子供達のために少しでも色々なことを経験させたいが、地域住民を納得させる必要がある。今回の説明会で、地域住民から出た質問に対して再度、何度も繰り返し、納得させて進めてもらえば、結果的にやって良かったと、最後には理解してもらえるかと思う。早い方がいいことは分かるが、西山地区は他地区より時間がかかると思う。そこは焦らず進めてもらいたい。

学教課長　ありがとうございます。焦らず、皆様全員が全て納得とはならなくても、少しずつでも理解が広がった時点で、次のステップに入りたい。

参加者　他学級の人数等は、確かに小さすぎると思うので、ここについては問題ない。やはり、どこの学校かというところ。耐用年数、築年度、保護者の送迎の利便性が理由で挙げられているが、確かに安全なのは子供達にとって大事だが、どうしても大人の都合で決めたところが多い気がする。地区にとっては、古くても不便でもこの学校がいいと言う人がたくさんいると思うので、例えば、図書室の明る

さ、体育館の仕組み、トイレの構造等、子供達が学校生活する上で、動きを見て比べた部分とかを挙げてもらえると、やはり、下長山小と思うかもしれない。送迎が便利とか、新しいと言われても、普通の人達は、納得しにくい。子供達にとって本当にどこがいい学校かという理由をもう少し具体的に挙げていただければ分かりやすい。私は、下長山小も上長山小も入ったことがなく、ここしか入っていないので比べようがない。子供達は古くても新しくても大事に学校を使うから、もう少し具体的に明るさとか、保健室の広さとか、家庭科室の衛生面とかを出して比べてもらえると、やはり、子供達にとってここがいいというのが分かりやすい。もし、またこういう機会があれば、そういうものも提示していただきたいと思っている。あと、上長山小、下長山小の説明会はどうだったか。

学教課長　各学校の施設面、衛生面はどこも大丈夫。比べられない。学校施設は、同時期の建設。教室の広さ等違う部分はそれぞれ比較する。水洗トイレの個数は、均等だった。ただ、造り等で使用しやすいところは、実際に行って再調査が必要。詳細部分は、ここでは回答出来ない。調べられる部分は、調べたい。図面上での比較はできる。

　一昨日、上長山小では統合の話、以前の問題で、地域への周知が広報のみだったことを言われ、突然こういった説明会の実施の周知の仕方が悪いと指摘され、当然だなと。上長山小では賛成、反対の前段階で、説明会をやる際の周知をもう少し検討して欲しいと。あとは、一番の問題はどこに統合するか。どこもうちだと。これをどう説得するか非常に困っている。学校の施設状況や位置。皆さんが納得される一番いい手段は、中心部に新しく学校を建て、そこに統合となれば納得されるかと。ただ、そうなると将来、例えば、今統合しても 10～20 年経って更に少人数で 100、90 人を切って、更に他地区との統合も考えられる。そういう面で、統合のための新校舎の建築は、少し難しいかと。そうすれば、既存の校舎を使う必要性の部分で検討するしかない。やはり、上長山小でも、統合時の場所をどこにするか、どういう跡地利用をするか、資料と説明がほしいとか、それによって考える場合もあるといったことも出された。下長山小は、反対意見よりも自分の学校を使う部分、他の学校の校舎を使用がないようにという意見はあった。これは、どこも同じかと非常に悩んでいるが、皆さんが納得できるよう教育委員会では、さらに検討したい。

参加者　　新しい校舎を建てるのが一番納得されても、その先は減るかもしれない。私は高校教師だが、当時、新しい高校に短期生で入った。その学校は、現在福祉施設。その後の人口減少を予測していたのか立てた時からなくなる運命だった。もし、同じように将来の人口の推移を分かった上で建てるなら、例えば、その後の利用法をどうするかまで計画して建てるのがいいのでは。あとは、細かい部分を色々比較。例えば、今小学校の野球チームは上長山小、下長山小、西根小の西山地区

で 1 チーム。そのチームの練習場所はどこか。ローテーションの話は出るが、結局使うのは、毎年西根小。なぜなら、西根小のグラウンドのトイレは、いつでも入れる。上長山小、下長山小では、グラウンドにトイレがないから体育館を開けてもらわないとトイレを使えない。例えば、どこの小学校も改修等が必要。それぞれで増設や改修するとすればいくらお金がかかってどの程度金額の差が出てくるか。新しいものを建てると大きな税金が動く。もしかすると差はないかもしれない。学童の話があったが、上長山小と西根小は、校内にある。下長山小は、プレハブ。だが、あまり大きな感じはしないので、それでプレハブを向こうから持って来るとか。色々な金額を積み重ね、それぞれの学校でマッチさせたらどうか。

学教課長　そこは、時間を要する部分かと。比較については細かい部分、検討したい。

参加者　　今わかる、今後の細かい予定を知りたい。例えば、説明会はその都度開かれものか。説明会と並行して統合準備委員会が立ち上がると思うが、いつ頃の予定か。現在の状況で、ある程度考えている日程表があればご提示いただきたい。

学教課長　今年度中に各地区の説明会を実施する。それぞれ何度か足を運ばなくてはいけない状況。皆様の理解を得て、26 年度には準備委員会の設置と必要な項目について検討する。併せて、統合に関わって必要な改修等工事は、統合の前年度に全て完了するよう並行して進めたい。ただ、理解を得られない部分は 26 年度も説明会を続ける。合意を得て準備委員会を組織しないと、先へ進められないと考えている。並行は難しいと考える。

参加者　　仮に 2 年後に合意を得てから準備委員会発足だと、28 年 4 月に間に合わないかと。

学教課長　今は三地区同時だが、合意されたところから準備委員会を設置して統合に向け進めたい。必ず合意されてから進めるので、1～2 年は遅れるだろうと。

委員長　　教育委員会の理想は、各地区一斉としたいが地域の思いがある。西山地区は、校舎の問題が特に大きいので時間がかかるかと。色々話して意見を組み込み、新しい案を作って提出と繰り返すので、多少遅くなるかと。逆に、御所地区は、安庭小校舎の建築年度は 2、3 年前なので、統合に納得いただければ案どおり 26 年度から準備委員会を立ち上げて検討できる可能性もある。最終的に地域ごとにスタートがずれる可能性はある。

参加者　　子育て支援対策とは、人口減少を食い止める対策だが、どのように考えているか。あと統合にあたり、人数や単式以外に魅力的な部分、目指したい学校を聞きたい。

学教課長　人口減少に歯止めをかける部分は、町づくりの中の政策にある、少子化対策。子育てしやすい環境づくり、定住促進のための対策等色々あるが、非常に難しく、なかなか実を結んでいない部分もある。人口減少を止めるためにも、やはり一番は子育てしやすい環境。雫石に住めば、子育てしやすい環境が整っている政策を

進められれば。現在の医療費は、中学生まで町で全て負担。それも一つの政策。学校像は、それぞれの学校でテーマを持って目指している。教育委員会からよりも学校ごとに子供達を育てるためのテーマを見つけて取り組む。いずれも教育委員会としては、今の子供達を知・徳・体のバランスのとれた子供達に育てたい。大人になれば、社会に出て自立して生活しなければならない。それらの最初の基盤を作るのが学校教育かと思う。そういった形で学校教育をやっていただいており、統合してもそういう学校教育を続けてほしい。

教育長　加えて、現在 10 小学校で伝統芸能等の特色ある取り組みは、統合されても地区ごとの伝統はなくさないよう時間を取りたい。または、発表する機会を設けたい。地域の伝統芸能の指導者に学校なり公民館なりで指導していただき、統合された学校の運動会や学習発表会において新しい学校の出し物だけでなく、地域の取り組みとして発表するとか。または、新しい行事として伝統芸能発表会のような催しも設けたい。現在の地域と子供達の絆が壊れずに進めるよう、どこの統合先でも実施したい。

参加者　私は、複式学級の経験がないのでわからないが、本当に良くないのか。確かに複式の 3〜4 人のクラスを見ると可哀想とも思うが、学業の面は、例えば 5、6 年生が 4 人ずつで 8 人でも変わらない気がする。先生 1 人で教えるのも変わらない気がする。運動面の切磋琢磨は学校同士の交流を増やして、1 チームとか。それで対応することはできないか。

教育長　町内のスポ少は、3 校一緒に西山ボンズという野球チーム、或いはバレーボールチームがある。例えば、特別な時間を設けることは、今の学校でも出来るが、体育や音楽の授業に集まるのは難しい。複式学級の授業を見たが 1 時間の半分しか授業を進められない。別の学年の子供達は、自習やワーク。先生は 1 人で大変。同じ教室で別のことをやるのは、下の学年にとっては 1 年先の勉強の様子が分かり、上の学年の子が下学年の子供に教えると復習できる可能性もある。しかし、一つの問題に様々な考え方を戦わせて、一つの概念を作り上げるのが半分の時間。少人数の子供達は、可哀想な感じもする。

学教課長　複式が悪いわけではない。逆に学力面は、高い場合もある。ただ、学力面でなく集団生活で社会性を身につける部分は、やはり小規模よりある程度の集団で生活した方が身につくだろうと。盛岡市等でも統合が進み、複式を持つ学校が減り、複式経験のある先生方も減少している。雫石町で初めて複式を経験し、指導方法を勉強しながらの指導となる。ある程度勉強して、次の年から活かせるが、異動になれば新しい先生がまた複式の指導方法を勉強しながらの指導。子供達にもマイナスの部分は考えられる。

委員長　私は、橋場小で高学年の複式を経験。決して学力が低いということではない。ただ、みんなの中で自分を出せない。知らない人の中に入ったときに自分の考え

を話すことに憶病になる。それは、身に染みている。乗り越えればいいが、乗り越えられない子は、少し辛いかと。上長山小の時は、ちょうど複式学級が出来る時に赴任した。当時困ったのが、担任を誰にするか。経験した先生だと安心でき、色々と工夫して子供達に接してくれる。初めての先生は、とてもじゃないがお手上げ。上長山小の時は、たまたま複式学級を経験した先生がいたので、頼み込んで担任してもらい、一人ひとり褒めながら本当に一生懸命な先生で良い形になった。初めての先生だと恐らく 1 学期間は、何をやったか分からないような状態で進む。そういう点でのマイナスもあるので、出来れば、複式より単式がいいと感じた。そういう思いで、今回も複式学級の解消を第一に考えた。学力的には、少人数がいい場合もある。

参加者　　小学校が統合することで、西根保育所が無くなったり統合したりとはあるか。

学教課長　西根は町営で、西山は民営。民営化が検討されても、待機児童をなくすために、保育所をなくすことはないと思う。

５．閉会宣言

教育長　　一気に冬になったような季節にお忙しいところ、本当に沢山のご意見ありがとうございました。検討すべきことを沢山出していただき、それらをまた検討し、同じような会を設けたい。児童にとってより良い教育環境を第一に考え、切磋琢磨できる教育活動を考えた結果、今回示した適正配置基本計画となった。皆様から頂いた意見を加え、適正配置の基本計画を確かなものにし、雫石町の子供達のために進めたい。どうかよろしくお願いしたい。